

新型コロナウイルス感染症と腎臓

医療法人 小金井中央病院
副院長 海野 鉄男

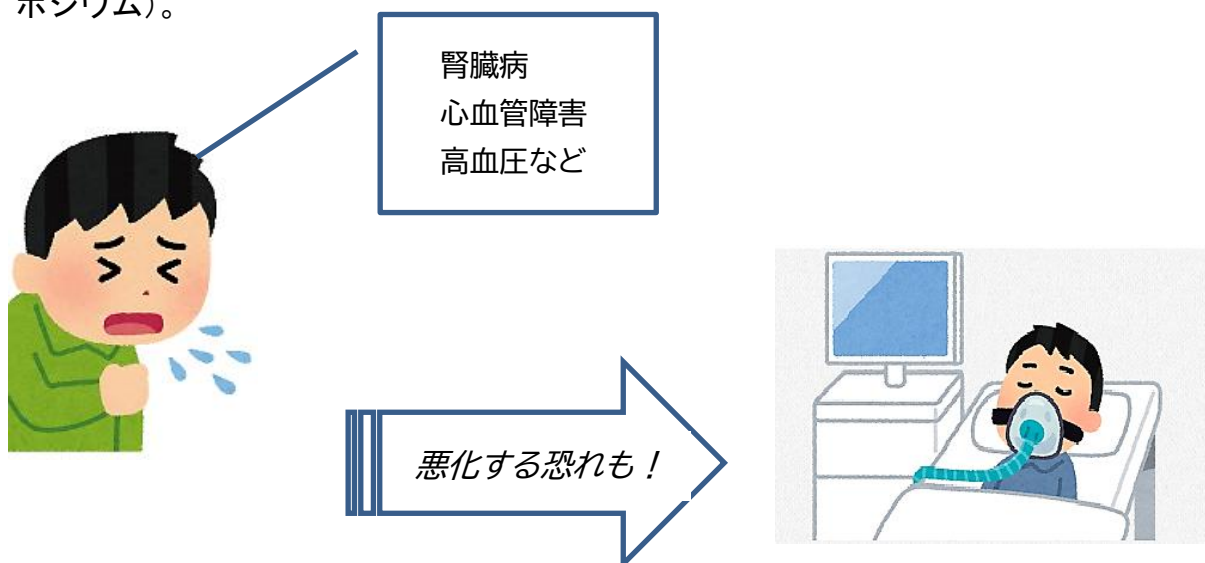
はじめに

新型コロナウイルスは発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、ヒトからヒトへ感染すると考えられています。このウイルスに特に有効な抗ウイルス薬などは現在の所はなく、対症療法を行います。感染経路としては、飛沫（ひまつ）感染と接触感染の2つと考えられています。

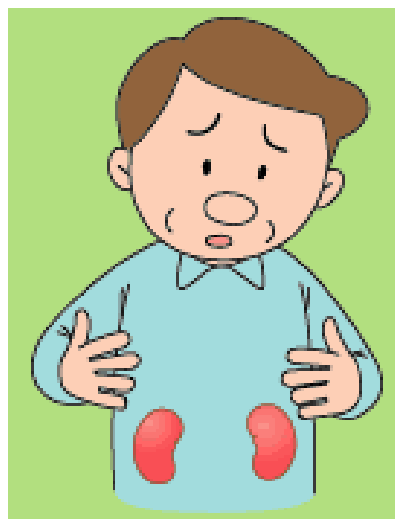


腎臓との関連

新型コロナウイルス感染症の重症化リスクに腎臓病が挙げられており、慢性腎臓病、特に腎炎やネフローゼ、腎移植のため免疫抑制剤やステロイドを内服している方、透析を受けている方では重症化のリスクがあるとされているため、十分な注意が必要です。慢性腎臓病を原因とする透析患者さんの新型コロナウイルス感染による死亡率は、一般の人よりも6倍高いと報告されています（第63回日本腎臓学会総会・特別シンポジウム）。



また、新型コロナウイルス感染症では、急性腎障害（Acute Kidney Injury：AKI）合併率も高いとされ、これは「蛋白尿が出る」「尿がでなくなる」など急速に腎機能が低下する病態です。AKIは新型コロナウイルス感染重症者の5～23%にみられており、典型的なAKIは発症してからおよそ2週間の間起こってきます。AKIの予防には、十分な水分摂取を行う、解熱鎮痛剤（NSAIDs）など腎機能低下リスクとなる薬剤の不用意な使用に注意する、などが挙げられます。



おわりに

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が続いている、倦怠感や呼吸困難がある、などの症状が続く場合には、新型コロナウイルス感染症の疑いとして特に注意が必要であり、最寄りの医療機関にまずは電話でご相談頂きたいと思えます。



新型コロナウイルス感染症の流行状況や対策については今後変化することも考えられます。情報が随時更新されていますので、ニュース、行政のホームページなどで最新の情報をご確認ください。

新型コロナウイルスワクチンについて

医療法人 小金井中央病院
外来師長 山崎 久江

2021年5月15日現在、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、政府は東京、大阪、兵庫、京都、福岡、愛知の6都府県を対象に、3回目となる「緊急事態宣言」を出しています。5月16日からは北海道、岡山県、広島県を加えた9都道府県に拡大します。

感染拡大が治まらない状況の中、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっています。接種順位は医療従事者等、次に高齢者、基礎疾患を有する方、それ以外の方の順で接種を行います。

接種順位

	接種対象者	接種時期
1	医療従事者（優先接種）	令和3年3月上旬～
2	高齢者（令和3年度中に65歳以上に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）	令和3年4月12日～ （一部市町）
3	基礎疾患を有する方（高齢者以外）、高齢者施設等の従事者	令和3年5月以降
4	それ以外の方	

※栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部より引用

ワクチンの接種にあたって

ワクチン接種には予約が必要になります。

住民票所在地の市町村から接種券・案内通知などが郵送されます。

ワクチン接種までの流れ

① 「接種券」が市区町村から届きます

- 接種場所や日程は市区町村によって異なります。
- 「接種券」に同封されている案内でご確認ください。

接種券様式

接種券			
接種券番号	2	ワクチン接種	1
接種券種別	〇〇県〇〇市		123456
接種券種別	1234567890		
氏名	山崎 太郎		
QRコード (QR)			

② 接種場所と日時を予約します

- 接種場所や日程が確認できたら案内の記載にしたがって予約してください。



③ 接種を受けます

- 受付では①接種券、②本人確認書類（健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなど）が必要です。
- 接種後は様子を見るため経過観察室で15～30分ほど待機いただきます。



※厚生労働省より

当日の体調・服装の確認

- ・発熱等がある場合は接種できません。予約のキャンセルの連絡をしてください。
- ・すぐに肩を出せる、接種しやすい服装で来てください。
※寒い場合は脱ぎやすい上着を着用してください。

持ち物・必要書類






- ・接種券（クーポン券）はシールを剥がさず一式お持ちください。
- ・ワクチン接種の予診票（2枚複写）
※説明書等をよく読み、予診票に記載してご持参ください。
- ・本人確認書類（健康保険証・マイナンバーカード・運転免許証等）
- ・おくすり手帳（お持ちの方）

ワクチン接種後の注意事項

- ・接種後（特に接種直後～数日間）は体調に注意しましょう。
- ・ワクチン接種は筋肉注射なので痛みや腫れなどの副反応が現れる場合があります。
- ・注射部位は揉まないでください。
- ・接種後は15分～30分程度の状態確認をしてから、ご帰宅になります。
（ワクチン接種後待機中に、体調に異常を感じた場合は速やかに申し出ましょう）
- ・接種当日の入浴は問題ありませんが注射部位はこすらないようにしてください。
- ・当日の激しい運動は控えてください。

起こるかもしれない症状（接種者の10%以上に起こったもの）

【症状の発現状況、時期、持続期間】

症状										
	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱	
発現割合	84.3%	10.6%	15.5%	37.9%	23.7%	55.1%	62.9%	32.4%	14.8%	
発現時期	接種当日		接種翌日							
持続期間	約2日		約1日							

※厚生労働省より

このワクチンは2回接種を受ける必要があります。これらの症状の多くは、1回目の接種より2回目の接種時に高い頻度で認められました。

コロナワクチン接種後も3つの密（密閉・密集・密接）を避け、マスクを着用し手洗い・手指消毒を続けましょう。